

歴史学の再生

9/28[±]

大和興福寺の記録からみた 天正年間の信長と光秀

福島金治 ● 本学・歴史学科教授

① 13:00-14:30

信長政権が畿内を掌握したころ、大和の興福寺の訴訟や諸問題を解決するため、取次をしていたのが光秀でした。近世の加賀前田家が調査・収集した興福寺の記録から、当時の政権の考え方と光秀の担当した仕事を紹介します。



Kaneharu Fukushima

フェノロサと狩野芳崖 —近代日本画の改革者たち—

井上 瞳 ● 本学・歴史学科准教授

② 15:00-16:30

明治11(1877)年来日したアーネスト・フェノロサは、東京大学で教鞭をとるかたわら日本美術の研究を進め、狩野芳崖とともに、伝統に根差した新しい日本画の創造を目指しました。東京美術学校(現在の東京藝術大学)として結実した彼らの理想とは何だったのか、その軌跡をたどります。



Hitomi Inoue

10/12[±]

ティトー主義の陰影

門間卓也 ● 本学・歴史学科准教授

③ 13:00-14:30

多民族社会であった社会主義ユーゴスラヴィアで「友愛と統一」を実現したカリスマ的指導者、こうしたティトーの評価には近年疑問が投げかけられています。その後の凄惨な民族紛争に至る道筋を明らかにするためにも、冷戦体制下の内政・外交両側面におけるティトー主義の実像解明に取り組みます。



Takuya Momma

船が結ぶ近世日本のモノと人

中川すがね ● 本学・歴史学科教授

④ 15:00-16:30

北国・西国・東国を結ぶ海域であった瀬戸内海には、江戸時代において多くの船が航行していました。瀬戸内各地の「渡海船」といわれる貨客船や、長距離航行にたえる大型の廻船のほかに、尾州廻船や北前船といわれる船も瀬戸内海で活躍していました。人々はどんな船に乗って旅をしたのか、モノの流通はどのように行われたのか、瀬戸内海の湊はどのようなものだったのかお話しします。



Sugane Nakagawa

日時

2024年9月28日[±]・10月12日[±]

①③ 13:00-14:30 ②④ 15:00-16:30 (開場12:30)

会場

愛知学院大学名城公園キャンパス
キャッスルホール明倫

〒462-8739 愛知県名古屋市北区名城3-1-1 地下鉄名城線「名城公園」下車徒歩1分

対象:どなたでも参加できます(中高生歓迎) **入場無料** 事前申込不要

お問い合わせ先 ● 愛知学院大学文学部歴史学科 ☎ 0561-73-1111(代) E-mail: rekisi@dpc.agu.ac.jp

歴史学科HP <http://www.flet.agu.ac.jp/information/history/news/>

愛知学院大学HP <http://www.agu.ac.jp/>



AICHI GAKUIN
UNIVERSITY

愛知学院大学
文学部 歴史学科
Instagram



AGUREKISHI